

歯科衛生学科 シラバスの変更一覧

学年	ページ	開講科目
1年	21～22	口腔解剖学
1年	25	病理学
2年	80	歯科放射線学
3年	125～126	臨地実習指導(臨床総合)
	137～138	実務経験を有する教員の科目一覧

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-1-DHB-04				
	●									
科目名	口腔解剖学				単位 認定者	山口 恵 白石 成		評価の方法	試験（筆記）	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	1 年	開講時期	通年	単位数	2 単位		授業内課題	10 %
						授業時間数	40 時間		受講態度	10 %
				授業形態	講義	授業回数	20 回			
授業の概要	口腔とは消化管の始まりの部分であり、食物摂取、咀嚼、嚥下などの一連の役割がある。本科目では、口腔疾患に携わる歯科衛生士に必要な、歯・口腔とその周囲組織の形・構造に関する理解を深める。また口腔に関する発生について理解を深める。									
到達目標	歯・口腔とその周囲組織の構造・機能に関する理解を深め、説明できる。									
学修者への期待等	口腔の解剖に関する知識は、臨床を行う上でも不可欠なものとなる。学修量が多いので必ず復習をすること。また、必ず授業に参加すること。定期試験以外にも適宜小テストを行う。									
回	授業計画・学修の主題				準備学修		事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員	
1	口腔解剖学総論 頭蓋の骨 ①（頭蓋の骨の全体像・頭蓋の前面）				事前学修：「Ⅰ編 歯・口腔の構造 1章 ②口腔を構成する骨」のうち、対応する部位を読んで授業に臨む。		30	0	山口 恵	
2	頭蓋の骨 ②（頭蓋の上面・後面・側面）				事前学修：「Ⅰ編 歯・口腔の構造 1章 ②口腔を構成する骨」のうち、対応する部位を読んで臨むこと。		30	0	山口 恵	
3	頭蓋の骨 ③（頭蓋の下面・内面）				事前学修：「Ⅰ編 歯・口腔の構造 1章 ②口腔を構成する骨」のうち、対応する部位を読んで臨むこと。		30	0	山口 恵	
4	頭蓋の骨 ④（上顎骨、口蓋骨）				事前学修：「Ⅰ編 歯・口腔の構造 1章 ②口腔を構成する骨」のうち、対応する部位を読んで臨むこと。		30	0	山口 恵	
5	頭蓋の骨 ⑤（下顎骨、舌骨）				事前学修：「Ⅰ編 歯・口腔の構造 1章 ②口腔を構成する骨」のうち、対応する部位を読んで授業に臨むこと。次回小テストを行う予定。（概ね2時間準備必要）		30	0	山口 恵	
6	顎関節（顎関節の構造と働き）				事前学修：「Ⅰ編 歯・口腔の構造 1章 ④顎関節」の部位を読んで授業に臨むこと。		30	0	山口 恵	
7	口腔の構成①（口唇、頬、歯肉）				事前学修：「Ⅰ編 歯・口腔の構造 1章 ①口腔とは」のうち、対応する部位を読んで授業に臨むこと。		30	0	山口 恵	
8	口腔の構成②（口蓋、舌下部、舌、味蕾）				事前学修：「Ⅰ編 歯・口腔の構造 1章 ①口腔とは」のうち、対応する部位を読んで授業に臨むこと。		30	0	山口 恵	
9	唾液腺（三大唾液腺、小唾液腺）、咽頭と喉頭の構造				事前学修：「Ⅰ編 歯・口腔の構造 1章 ⑦唾液腺」、「Ⅲ編 歯・口腔の機能 4章 嚥下と嘔吐」を読んで授業に臨むこと。		30	0	山口 恵	
10	口腔、歯胚の発生				事前学修：Ⅱ編 歯および歯周組織の発生 1章顔面と口腔の発生、Ⅱ編 2章歯と歯周組織の発生、を読んで授業に臨むこと。		30	0	山口 恵	
11	頭頸部の筋肉について（総論） 頭頸部の筋 ①（顔面筋）				事前学修：「2章 ③頭頸部の筋と作用」のうち、対応する部位を読んで授業に臨むこと。		60	90	白石 成	
12	頭頸部の筋 ②（咀嚼筋とその作用、舌骨上筋群、舌骨下筋群とその作用）				事前学修：「2章 ③頭頸部の筋と作用」のうち、対応する部位を読んで授業に臨むこと。		60	90	白石 成	
13	口腔付近の動脈 ①（脈管系総論と総頸動脈、外頸動脈の枝・舌動脈と顔面動脈）				事前学修：「2章 ⑤口腔付近に分布する脈管系」のうち、対応する部位を読んで授業に臨むこと。		60	90	白石 成	

回	授業計画・学修の主題	準備学修	事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
14	口腔付近の動脈・静脈 ②（顎動脈とその分枝、内頸静脈、下顎後静脈など）	事前学修：「2章 ⑤口腔付近に分布する脈管系」のうち、動脈系の対応する部位を読んで授業に臨むこと。	60	90	白石 成
15	頭頸部のリンパ系（頭頸部のリンパ節の分布）	事前学修：「2章 ⑤口腔付近に分布する脈管系」のうち、リンパ系の部位を読んで授業に臨むこと。	60	90	白石 成
16	神経学総論	事前学修：「2章 ⑥神経」のうち、対応する部位を読んで授業に臨むこと。	60	90	白石 成
17	頭頸部の神経 ①（脳神経__嗅神経、視神経、動眼神経、滑車神経、外転神経）	事前学修：「2章 ⑥神経」のうち、対応する部位を読んで授業に臨むこと。	60	90	白石 成
18	頭頸部の神経 ②（顔面神経、内耳神経、舌咽神経、迷走神経、副神経、舌下神経）	事前学修：「2章 ⑥神経」のうち、対応する部位を読んで授業に臨むこと。	60	90	白石 成
19	頭頸部の神経 ③（三叉神経とその分枝）	事前学修：「2章 ⑥神経」のうち、対応する部位を読んで授業に臨むこと。	60	90	白石 成
20	頭頸部の神経 ④（脊髄神経と自律神経系）	事前学修：「2章 ⑥神経」のうち、対応する部位を読んで授業に臨むこと。	60	90	白石 成
アクティブ・ラーニング	☒ 該当なし ☐ 該当あり：キーワード（ ）				
教科書	『歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社 頭蓋骨の模型・プロジェクターを使用する。プリントを配布する。				
参考文献	適宜紹介する。				
備考	小テストは個別に実施し、頭蓋骨を手にして、各部名称、神経・付着筋についての概要が説明できるようにする。 授業内課題については、確認後にフィードバックを行う。				

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)	
【白石】歯科医師として、特に、歯の欠損や骨欠損に対する補綴歯科治療、また、摂食嚥下リハビリテーションをサブスペシャリティとしている。両分野とも、筋や神経に対する知識、それらが生成する咀嚼運動や顎運動への理解が重要であり、これらの実務経験を活かした口腔解剖に関する授業を実施する。	

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング				
	●					DH-1-DHB-07				
科目名	病理学				単位 認定者	山口 恵		評価の方法	試験（筆記）	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	1 年	開講時期	後期	単位数	1 単位		授業内課題等	10 %
						授業時間数	30 時間		受講態度	10 %
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	病理学とは病気になった原因を探り、病気になった患者の身体に生じている変化が、どのようなものであるかを明らかにする学問である。本科目では、病気にはどういう種類があるか、細胞・組織・臓器にどのような病的変化(病理・病変)を生じるかを、肉眼的及び微細構造学的に理解し、個体に現れる症状や徴候についての知識を修得する。とりわけ、顎口腔は、硬・軟両組織を含む多数の組織より構築され、口腔領域に特徴的な病変が多く発生するので、その基本的な知識を修得する。									
到達目標	種々の疾患で生じる臓器、組織、細胞での形態学的な変化を理解する。とりわけ、硬・軟両組織を含む多様な組織より構築されている顎口腔部位について、その特異的な病変を理解する。									
学修者への期待等	病理学とは医学の基礎となる学問である。そのため、解剖学、生理学等の他の基礎医学の基本的知識を踏まえた上で修得に努めてほしい。									
回	授業計画					準備学修			事前学 修時間 (分)	事後学 修時間 (分)
1	病理学①（病理学とは、病因論（内因と外因）、遺伝性疾患と奇形）					事前学習；教科書2～13ページまでを読んでおく（1章、2章）			20	0
2	病理学②（循環障害）					事前学習：教科書14～22ページまでを読んでおく（3章）			20	0
3	病理学③（代謝障害と退行性病変）					事前学習：教科書23～33ページまでを読んでおく（4章）			20	0
4	病理学④（増殖と修復）					事前学習：教科書34～41ページまでを読んでおく（5章）			20	0
5	病理学⑤（炎症と免疫応答異常）					事前学習：教科書43～59ページまでを読んでおく（6章）			20	0
6	病理学⑥（腫瘍）					事前学習：教科書60～68ページまでを読んでおく（7章）次回小テストを行う予定（範囲は病理学①～⑥）。			20	0
7	口腔病理学①（歯の発育異常、歯の損傷）					事前学習：教科書70～87ページまでを読んでおく（口腔病理1、2章）+小テスト			20	0
8	口腔病理学②（う蝕、象牙質・歯髄複合体の病態）					事前学習：教科書88～104ページまでを読んでおく（口腔病理3、4章）			20	0
9	口腔病理学③（歯周組織の病態）					事前学習：教科書105～121ページまでを読んでおく（口腔病理5章）			20	0
10	口腔病理学④（口腔粘膜病変）					事前学習：教科書122～132ページまでを読んでおく（口腔病理6章）			20	0
11	口腔病理学⑤（口腔領域の嚢胞と腫瘍）					事前学習：教科書133～145ページまでを読んでおく（口腔病理7章）			20	0
12	口腔病理学⑥（口腔癌）					事前学習：教科書146～151ページまでを読んでおく（口腔病理8章）			20	0
13	口腔病理学⑦（顎骨の病変）					事前学習：教科書152～159ページまでを読んでおく（口腔病理9章）			20	0
14	口腔病理学⑧（唾液腺の病変）					事前学習：教科書161～167ページまでを読んでおく（口腔病理10章）			20	0
15	口腔病理学⑨（口腔領域奇形、加齢変化）					事前学習：教科書168～179ページまでを読んでおく（口腔病理11、12章）			20	0
アクティブ・ラーニング	☑該当なし ☐該当あり：キーワード（ ）									
教科書	『歯科衛生学シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 1 病理学・口腔病理学』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社									
参考文献	適宜、参考資料を配付する。									
備考	小テストは回収後、採点し、次回総括する。授業の進捗状況により授業計画の順番が前後することがある。									
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)										
東北大学歯学部にて実務経験あり。また学生への教育経験もあり、それを活かして病理学の講義を行います。										

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-2-DHC-11				
	●									
科目名	歯科放射線学				単位 認定者	飯久保 正弘 西條 佳奈		評価の方法	試験 (筆記)	90 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	1 単位		受講態度	10 %
						授業時間数	20 時間			
				授業形態	講義	授業回数	10 回			
授業の概要	エックス線の性質を理解し、歯科医療における正しいエックス線の利用法と歯科衛生士が果たす役割を認識する。エックス線診断の基本を学び、基本的な病態診断の技術を習得するとともに、放射線の生理学的影響やエックス線の性質、撮影法について、理解を深める。									
到達目標	エックス線の性質を理解し、歯科医療における正しいエックス線の利用法と歯科衛生士が果たすべき役割を認識する。エックス線診断の基本を理解し、基本的な病態診断の技術を修得する。									
学修者への期待等	欠席せずに意欲を持って臨み、予習・復習をしっかりと行ってほしい。									
回	授業計画・学修の主題					準備学修		事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
1	遠隔【オンデマンド】 エックス線の基礎知識（講義）、エックス線写真の成立、写真処理					事前学修：予習として「放射線」という言葉の意味を調べておく。		30	0	飯久保 正弘
2	遠隔【オンデマンド】 歯科用エックス線撮影法(1)口内法					事前学修：前回の内容を復習して授業に臨むこと。		30	0	飯久保 正弘
3	歯科用エックス線撮影法(2)口外法とX線写真の読み方					事前学修：予習として放射線が人体に与える影響を調べておく。		30	0	飯久保 正弘
4	歯放射線防護（講義） 放射線被曝、放射線の生体に対する作用、組織の放射線感受性、放射線障害					事前学修：前回の内容を復習して授業に臨むこと。		30	0	飯久保 正弘
5	歯科用エックス線撮影法(3)パノラマ撮影法					事前学修：前回の内容を復習して授業に臨むこと。		30	0	飯久保 正弘
6	その他の画像診断（CT、MRI、超音波）と放射線治療					事前学修：前回の内容を復習して授業に臨むこと。		30	0	飯久保 正弘
7	歯科用エックス線写真撮影における歯科衛生士の役割／ 歯科用エックス線写真撮影における歯科診療補助（平行法・二等分法）相互演習					事前学修：2回目の授業内容について復習をして授業に臨むこと。 事後学修：授業内で配布した実習記録を用いて復習すること。		30	30	西條 佳奈
8	歯科用エックス線写真撮影における歯科診療補助（パノラマエックス線写真）相互演習／歯科用エックス線写真の読影（う蝕）グループワーク					事前学修：5回目の授業内容について復習をして授業に臨むこと。 事後学修：授業内で配布した実習記録を用いて復習すること。		30	30	山口 恵 西條 佳奈 伊藤 明日香
9	歯科用エックス線写真撮影における歯科診療補助（咬翼法・咬合法）相互演習／歯科用エックス線写真の読影（歯周病）グループワーク					事前学修：2回目の授業内容について復習をして授業に臨むこと。 事後学修：授業内で配布した実習記録を用いて復習すること。		30	30	西條 佳奈
10	歯科用エックス線写真撮影における歯科診療補助（インジケータを使用した二等分法）相互演習／ 歯科用エックス線写真の読影（その他の歯科疾患）グループワーク					事前学修：7回目の授業内容について復習をして授業に臨むこと。 事後学修：授業内で配布した実習記録を用いて復習すること。		30	30	山口 恵 西條 佳奈 伊藤 明日香
アクティブ・ラーニング	□該当なし ☑該当あり：キーワード（相互演習・グループワーク）									
教科書	『歯科衛生士テキスト わかりやすい歯科放射線学 第3版』飯久保正弘ほか著、株式会社学建書院									
参考文献	なし									
備考	1～6回目については、教室にて合同授業を実施する。7～10回目についてはクラス別での演習とし、実施する教室は授業前に周知を行う。また7～10回目の実習記録は、授業終了後に回収し、添削後返却する。									

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)	
飯久保：28年前より教職に従事し、日本歯科放射線学会の指導医、専門医を有している。	

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング DH-2-CLT-12				
		●	●	●						
科目名	臨地実習指導（臨床総合）				単位 認定者	花 淵 静		評価の方法	レポート	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	3 年	開講時期	通年	単位数	1 単位		受講態度	20 %
						授業時間数	30 時間			
					授業形態	演習	授業回数		15 回	
授業の概要	臨地実習Ⅲ（臨床総合）の事前・事後指導を行う。事前指導では臨地実習Ⅱ（臨床応用）を踏まえ、社会人となる上で必要となる実践力、研究力の育成を目指す。事後指導では実習の反省を踏まえ、自己の課題を見出しながら、必要となる事柄の修得のための学びを深める。									
到達目標	①臨地実習の目的と意義を理解し、歯科衛生士としての役割を説明できる。 ②コミュニケーションの基本（挨拶、説明、観察など）を行うことができる。 ③実習に臨むにあたり、事前課題を見つけ、自ら学ぶ姿勢を持ち行動することができる。									
学修者への期待等	患者さんや歯科スタッフと関わりながら、歯科衛生士としての役割や責任を深く理解し、自分の力になるための事前準備を行ってほしいです。また集団指導においては、各実習施設や対象者を理解し、それぞれに合わせた指導内容の計画をたて、実習メンバーとのコミュニケーションを円滑にし、事前課題および準備や計画を怠らず、真面目に取り組んでもらえることを期待しています。									
回	授業計画・学修の主題				準備学修		事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員	
1	3 年生臨地実習の目的・概要				事前学修：自身が選択した実習施設の特色・概要を調べておくこと。事後学修：内容の復習、関連資料の確認、課題への取り組みを行うこと。		30	30	花 淵 静	
2	ホスピタリティとは ～ホスピタリティマインドの発揮～				事前学修：ホスピタリティについて詳しく調べておくこと。 事後学修：内容の復習、関連資料の確認、課題への取り組みを行うこと。		30	30	花 淵 静	
3	『症例を診る』とは グループワーク				事前学修：歯科衛生学シリーズ『口腔外科学・歯科麻酔』、『保存修復・歯内療法』『歯科補綴』『歯科矯正』の教科書より自身が2年次の臨地実習で診た症例をまとめること。 事後学修：内容の復習、関連資料の確認、課題への取り組みを行うこと。		60	30	花 淵 静	
4	臨地実習Ⅰ ケースプレゼンテーション①				事前学修：臨地実習時の1 症例についてプレゼンテーションの準備をしておくこと。		90	60	伊藤恵美 佐藤陽子 大宮由布子 花淵静 武山真奈美 西條佳奈 伊藤明日香	
5	臨地実習Ⅰ ケースプレゼンテーション②				事後学修：実習日誌の確認、課題への取り組みを行うこと。					
6	臨地実習Ⅰにおける振り返り 【実習評価から自分の実習態度を振り返る】				事前学修：実習日誌を事前にみて自己の振り返りをしておくこと。 事後学修：内容の復習、関連資料の確認、課題への取り組みを行うこと。		30	60	花 淵 静	
7	臨地実習Ⅱの実習目標の設定				事前学修：シラバス6 回目の実習評価をうけ臨地実習Ⅱに臨むための実習目標を設定しておくこと。 事後学修：内容の復習、関連資料の確認、課題への取り組みを行うこと。		30	60	花 淵 静	
8	臨地実習Ⅱ ケースプレゼンテーション①				事前学修：臨地実習時の1 症例についてプレゼンテーションの準備をしておくこと。		90	60	伊藤恵美 佐藤陽子 大宮由布子 花淵静 武山真奈美 西條佳奈 伊藤明日香	
9	臨地実習Ⅱ ケースプレゼンテーション②				事後学修：実習日誌の確認、課題への取り組みを行うこと。					
10	臨地実習Ⅱにおける振り返り 【実習評価から自分の実習態度を振り返る】				事前学修：実習日誌を事前にみて自己の振り返りをしておくこと。事後学修：内容の復習、関連資料の確認、課題への取り組みを行うこと。		30	60	花 淵 静	
11	臨地実習Ⅲの実習目標の設定				事前学修：シラバス7 回目の実習評価をうけ臨地実習Ⅲに臨むための実習目標を設定しておくこと。事後学修：内容の復習、関連資料の確認、課題への取り組みを行うこと。		30	60	花 淵 静	

回	授業計画・学修の主題	準備学修	事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
12	臨地実習Ⅲ ケースプレゼンテーション ①	事前学修：臨地実習時の1症例について プレゼンテーションの準備をしておくこと。 事後学修：実習日誌の確認、課題への取り 組みを行うこと。	90	60	伊藤恵美 佐藤陽子 大宮由布子 花淵静 武山真奈美 西條佳奈 伊藤明日香
13	臨地実習Ⅲ ケースプレゼンテーション ②				
14	上杉山通小学校 集団保健指導実習の目的および概要	事前学修：『歯科衛生学シリーズ 歯科予 防処置論・歯科保健指導論』V編1章P396 ～P411を読んで授業に臨むこと 事後学修：集団指導計画（指導案、教材案 など）について実習グルーメンバーと効率 的にすすめていくこと。	30	90	西條 佳奈
15	上杉山通小学校（グループワーク） 保健指導計画の立案		30	90	
アクティブ・ラー ニング	□該当なし ☑該当あり：キーワード（ グループワーク プレゼンテーション ）				
教科書	歯科衛生学シリーズ 『歯科予防処置論・歯科保健指導論』『歯科診療補助論』『歯科機器』『歯科材料』『口腔 外科学・歯科麻酔』『臨床検査』『歯科補綴学』『歯科矯正学』『小児歯科学』『保存修復学・歯内療法学』『高 齢者歯科学』『障害者歯科学』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社				
参考文献	なし				
備考	授業の進捗状況により授業計画の順番が前後することがある。 シラバス4・5回、8・9回、10・11回、12・13回、14・15回は連続の授業とする。				

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)	
各講師は臨床経験豊富な歯科衛生士とビジネスマナー教育において教育歴が10年以上の講師で構成され、それぞれの専門分野（感染予防、周術期、摂食嚥下、歯科保健指導、歯科診療補助、歯科予防処置、コミュニケーションなど）に特化した内容の授業を行います。学生が臨床現場において安全・確実に実践力を身につけられるような授業を展開します。	

歯科衛生学科 実務経験を有する教員の科目一覧

科目名	単位	実務教員	実務の概要
医療手話	1	奥田 育代	手話通訳者としての実務経験あり。
法律入門	1	鈴木 一樹	公認会計士・税理士として、法定監査等の実務経験あり。
組織発生学	1	山口 恵	口腔外科医としての実務経験あり。
口腔解剖学	2	白石 成	歯科医師としての実務経験あり。
口腔生理学	2	小山 重人	歯科医師としての実務経験あり。
微生物学	1	阿部 昌子	微生物学・口腔微生物学分野での実務経験あり。
薬理学	1	磯谷 美重	歯科医師としての実務経験あり。
栄養学	1	藤枝 弥生子 藤井 由智恵	管理栄養士としての実務経験あり。
生化学	1	阿部 昌子	生化学・口腔生化学分野での実務経験あり。
地域保健	2	大森 俊也	在宅福祉の相談実務経験、訪問介護・看護事業の経営実務経験あり。
衛生行政・社会福祉・社会保障	2	園部 英俊	病院での歯科医師、保健所・福祉事務所で母子保健福祉・精神保健福祉・障害者福祉の実務経験あり。
歯科衛生士概論	2	大宮 由布子	歯科衛生士として、歯科診療所での実務経験あり。
歯内療法学	1	荘司 佳奈子	歯科医師としての実務経験あり。
保存修復学	1	原田 芙太巴	歯科医師としての実務経験あり。
歯周療法学	1	梶川 哲宏	歯科医師としての実務経験あり。
歯科補綴学	1	佐藤 奈央子	歯科医師としての実務経験あり。
口腔外科学	1	岩永 賢二郎 千葉 高大	歯科医師としての実務経験あり。
歯科矯正学	1	志満 雅子	歯科矯正学分野での実務経験あり。
小児歯科学	1	丸谷 由里子	小児歯科医師での実務経験あり
高齢者口腔保健学	1	猪狩 洋平	歯科医師としての実務経験あり。
障害者口腔保健学	1	星 久美	歯科医師としての実務経験あり。
歯科放射線学	1	飯久保 正弘	歯科放射線学分野での実務経験あり。
口腔衛生管理	1	伊藤 恵美	歯科衛生士として、大学病院での実務経験あり。
歯科予防処置法	2	武山 真奈美	歯科衛生士として、歯科診療所での実務経験あり。
う蝕予防処置法(臨床基礎)	1	鷺尾 純平	歯科医師としての実務経験あり。

科目名	単位	実務教員	実務の概要
歯周病予防法(臨床基礎)	2	伊藤 恵美	歯科衛生士として、大学病院での実務経験あり。
う蝕予防処置法(臨床応用)	1	鷺尾 純平 佐藤 聡子	歯科医師としての実務経験あり。
歯周病予防法(臨床応用)	2	伊藤 恵美	歯科衛生士として、大学病院での実務経験あり。
保健指導論	1	佐藤 陽子	歯科衛生士として、歯科診療所での実務経験あり。
保健指導演習Ⅰ(臨床基礎)	1	伊藤 明日香 大宮 由布子 佐藤 陽子	歯科衛生士として、歯科診療所での実務経験あり。
保健指導演習Ⅱ(臨床応用)	2	佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香	歯科衛生士として、歯科診療所での実務経験あり。
保健指導演習Ⅲ(臨床総合)	2	佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香	歯科衛生士として、歯科診療所での実務経験あり。
歯科診療補助法(基礎知識)	2	花渕 静 西條 佳奈	歯科衛生士として、歯科診療所での実務経験あり。
歯科診療補助演習Ⅰ(基本技術)	2	花渕 静 西條 佳奈	歯科衛生士として、歯科診療所での実務経験あり。
歯科診療補助演習Ⅱ(臨床技術)	2	花渕 静 西條 佳奈	歯科衛生士として、歯科診療所での実務経験あり。
歯科診療補助演習Ⅲ(臨床総合)	2	花渕 静 西條 佳奈	歯科衛生士として、歯科診療所での実務経験あり。
臨床検査法	1	花渕 静 伊藤 明日香	歯科衛生士として、歯科診療所での実務経験あり。
救急法・救急蘇生法	1	下田 元	歯科麻酔専門医として、救急対処等の実務経験あり。
審美歯科演習	1	花渕 静	歯科衛生士として、歯科診療所での実務経験あり。
	53	実務経験を有する教員が担当する科目の単位	
	93	設置基準上の標準単位数	